

教育開発支援センター

活用案内 **CTL**

教育開発支援センターでは、高等教育に関する様々な書籍をご用意しております。市販の図書に加え、各大学の紀要や報告書等も充実しております。閲覧・貸出は自由ですので、お気軽にお越しください。ご推薦頂ける書籍等も随時受け付けております。教育開発支援センター（千里山キャンパス第2学舎1号館1階）までお気軽にお問い合わせください。

### 書籍紹介（いずれも貸出可能です）

- 『リーディングス 日本の高等教育① 大学への進学 選抜と接続』 中村高康(編) (玉川大学出版部)  
 『リーディングス 日本の高等教育③ 大学生 キャンパスの生態史』 橋本鉦市(編) (玉川大学出版部)  
 『リーディングス 日本の高等教育⑤ 大学と学問 知の共同体の変貌』 阿曾沼明裕(編) (玉川大学出版部)  
 『大学破綻 一合併、身売り、倒産の内幕』 諸星裕(著) (角川書店)

## SA活動報告

### 「私のSA経験」

法学部4回生 吉田 達哉

私達学生は普段、大学のなかで授業を受ける受動的な立場です。

中には、授業よりもサークル活動やアルバイトなどに熱心な学生が少なからずおり、実は私もその1人でした。

しかし就職活動を目前に控え、そうした態度をまず改めたという思いからSA (student assistant) になりました。SAは教員の授業運営を様々な面でサポートし、負担を減らすことで授業に集中できる環境作りをします。初めのうちはただ、指示されたことをこなすだけでしたが、次第にSA活動をよりよくしたいと思うようになりました。職員の方は、SAの意

見に対して積極的に耳を傾けてくれるので、何でも提案しやすいです。例えば、より効率的な采配方法や、SA同士の自主練習会の実施などは、SAの提案により実際に導入されたことです。

また、SA業務の中で寝ている学生や携帯電話を触っている学生を見ると、それまでの自分の授業態度に問題があったことに気づくことができました。授業態度の良い学生を増やせないかと思うようにもなりました。

今後はSAとしての視点から、学生がより積極的に授業を受け、教員がより授業を実施しやすくなるような環境作りが目標です。こうした視点は、SA経験を通じて初めて持つことができました。SAも学生生活も残り少ないですが、この視野をより広め将来の自分の力にしたいと思います。

From

センター長

## FD活動は「倶楽部」活動?!

FD関連の機構やセンターの長という立場におられる先生方にとっては、大学間連携を行っている機関や他大学が主催するFDに関連する講演会・フォーラム・ワークショップ等に参加する機会は、かなり頻繁なのではないでしょうか。私自身そのような会に参加する機会が、センター長に就任する以前に比べるとかなり多くなったように思われます。

そんな私が、FDに関連する会合に参

加するたびに感じていることは、顔見知りの先生方や職員の方々ばかりにお会いするという事です。もちろん私自身も、他の参加者の方々から「あ、また会った!」、「あ、また来ている!」、「今日も居る!」等々、内心想われている一人であろうと確信しております。教育改善に強い関心を持つ方々が集うわけですので、このように毎度顔なじみのメンバーが揃うのは当然のことかもしれません。しかし、果たしてこれ

でよいのでしょうか。高等教育におけるFD活動が、ごく一部の人の集う「仲良し倶楽部活動」では少し困るような感じます。やはりFD活動は、オープンでかつ魅力溢れる楽しい“サークル活動”でなければならないのではないのでしょうか。そのための仕組み・仕掛けを模索するのがセンターの役割だと感じております。何か佳いお知恵がございましたら、是非とも当センターまでご一報いただきたく思います。

教育開発支援センター長  
化学生命工学部教授 池田 勝彦